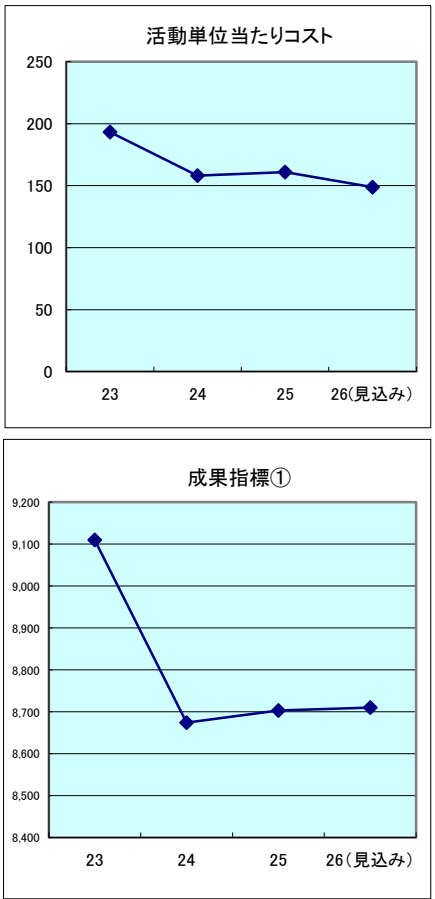


事務事業名			図書館管理運営事業		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち			款	10	教育費	
	施策(節)	3	生涯学習			項	5	社会教育費	
	施策の方向	(3)	図書館活動の充実			目	9	図書館運営費	
	事業	8	図書館総合運営						
関連する計画等			羽曳野市子ども読書活動推進計画		作成部署	生涯学習室図書館課			
					(連絡先)	072 - 950 - 5501 内線			
事業の概要(目的・内容)			・図書館では、多様な資料や情報を収集して地域住民の皆様の課題解決を支援し、地域を支える情報拠点として事業を推進している。業務内容は、資料提供を中心に蔵書管理、資料収集、リクエストサービス、レファレンスサービス(読書相談)、児童サービス、障がい者サービス、学校図書館支援事業、各種集会文化活動(講座・講演会等)、利用啓発(資料展示)、図書館関係団体への援助・連携、ステーションライブラリーや森のゆうびん局の運営、広域貸出サービス等を行っている。						
根拠法令等			社会教育法、図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字・活字文化振興法						
事業期間			☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満(平成 年度開始)						
事業開始時から の状況変化			府立ブックステーションとしてスタートし変形ブラウン方式で貸出していたが、コンピュータ処理に変わり現在6館1ブックステーションでのサービス並びに、10市による広域貸出を行っている。						
実施手法			☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先			☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市施設管理公社)				委託内容		図書館業務委託
			☐ 民間委託 ☐ その他						

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		76,852	50,701	51,679	41,196
人件費【2】 (千円)		102,504	113,524	106,624	107,558
職員数	正規職員	6.00 人	6.00 人	5.00 人	5.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.84 人	0.84 人	0.84 人
	嘱託職員	20.00 人	21.00 人	21.00 人	21.00 人
	臨時職員	6.28 人	9.40 人	9.40 人	9.42 人
超過勤務(参考) (時間)		1.00 時間	3.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費【(1)+(2)】【A】 (千円)		179,356	164,225	158,303	148,754
財源内訳	国庫支出金 (千円)	33,785			
	府支出金 (千円)	4,987		3,209	
	市債 (千円)				
	その他 (使用料・手数料等) (千円)				
	一般財源【B】 (千円)	140,584	164,225	155,094	148,754
活 動 指 標【C】		23年度	24年度	25年度	26年度
(事業の活動実績) 単位					(見込み)
① 年間個人貸出冊数	冊	928,132	1,038,588	983,280	1,000,000
② 年間団体貸出冊数	冊	39,826	46,043	50,388	52,500
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		193 円	158 円	161 円	149 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)		151 円	158 円	158 円	149 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		1,520 円	1,403 円	1,359 円	1,288 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			16.8 %	▲ 5.6 %	▲ 4.1 %
※前年度比5%以上変動している 要因(該当する場合のみ✓) ※該当項目すべてに✓		☒ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記			
		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫			
		☐ 5. その他(			



成果指標 (事業の達成度)	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	① 市民一人当たりのサービス効果 (式又は説明) (購入図書平均単価×貸出冊数÷人口)	目標	円	9,449	9,111	8,675	達成率(%) 8,710
		実績		9,110	8,674	8,703	100.3%
	② 貸し出しサービス指標 (式又は説明) 購入図書平均単価×貸出冊数÷図書館費×100	目標	円	788	670	693	達成率(%) 699
		実績		669	692	698	100.7%

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○	○								

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	地域住民が生活をしていくうえで欠かすことのできない、様々な情報を提供していくための拠点として、今後も事業を展開していくことが妥当である。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	少ない人数で最大の効果が上がるよう、利用サービスは、効率的になされている。全体の奉仕者の観点からも、受益者負担は適正に行っている。 ・平成23年度からコミュニティセンター内図書館の施設管理を行っている、羽曳野市施設管理公社に図書館業務を委託し、一貫した業務体制でサービスを行っている。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	各種ボランティア団体との協働により、図書館サービスを提供している。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	成果指標は有効に推移している。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	前年度より向上している。

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	平成25年度において策定した、第2次羽曳野市子ども読書活動推進計画に沿って、子どもたちの読書環境の整備を進めていく。現在の図書館システムは、平成25年度でリースアップとなりハード保守はスポット対応となっている。いつでもどこでも使いやすい図書館として効率的な図書管理、不明本を防ぐセキュリティ、これらの課題を解決できる新たなシステムの構築を目指す。また、図書館業務を継承発展させていくための、職員を中心とした組織作りが望まれる。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	